

マナーから法律へ

周囲へ与えるタバコの影響



「三次喫煙」という言葉をご存知ですか？

一般的に「受動喫煙」と聞くと、タバコの先から出る副流煙のことを指し、これを他者が吸い込むことを二次喫煙と呼んでいます。

現在では、分煙や加熱式タバコ等の普及により、副流煙を吸い込むことは、ほとんど無くなってきています。

では、本当にそれだけで他者への影響は避けられているのでしょうか？

三次喫煙とは、喫煙者が吐く息や毛髪や衣類、ソファやカーテン、カーペットなどに有害物質が付着し、そこに触れたり、吸い込んでしまうことで生じる害のことを指します。これも受動喫煙に当たります。

副流煙には、喫煙者本人が吸い込む煙よりも有害物質が2～10倍含まれています。

誰も居ない場所で吸っているから大丈夫、という考えは残念ながら根拠はありません。身近な家族やペットにこそ、知らず知らずのうちに悪質な影響を及ぼしているということになります。

2020年改正健康増進法により、細かな罰則規定も設けられています。

喫煙行為は、いよいよ「マナー」から「法律」へ、時代が変わってきていることを知っておきましょう。

大切な人に「禁煙」をプレゼントしてみませんか？

「禁煙」という言葉は、愛煙家にとって最も耳が痛いストレスなワードともいえるでしょう。「やめるのは大変」……でも「やめないともっと大変」な将来になってしまうかもしれません。禁煙チャレンジしてみたい方、現在募集中です！ 参加無料！ 必要なのはあなたの勇気！

プログラムの申し込みはこちら ▶▶

招待コード ▶▶ 893925



通常46,200円のところ…
今ならプログラム参加費用が、

自己負担なし
¥0 無料！